



文京ソーシャルイノベーション・ニュース

4
月号
2014

特集
「動き出そう！」

bunkyo-sip.jp



参加者
募集！

地域活動応援講座

- ・コミュニティづくりを仕事とするには？
- ・コミュニティ事業のプランづくりのコツ

2014年度
支援候補プロジェクトを
募集します！

地域活動応援講座

～まちのつながりを育む仕事を始めよう～

参加
無料

地域のつながりづくりに、ビジネスの手法を活かし、仕事として取り組む人が増えています。

それらの仕事は、地域に暮らす人の潜在的なニーズに注目し、地域の人々が活躍できる仕組みを設計し、地域の力を借りながら運営されています。

今回の講座では、先行事例をもとに事業の企画・運営の方法と、事業プランづくりのコツを学びます。

実践事例のノウハウを学ぶ

コミュニティづくりを仕事とするには？

～小箱ショップのあるタウンカフェからコミュニティを生み出す方法～

5月11日(日) 13:30~16:30

会場：文京シビックセンター 5階 A・B 会議室

定員：30名(抽選) 申込締切：4月28日(月)

横浜市で地域のつながりづくりを促してきた港南台タウンカフェ。そこには、地域との関係づくりや、参加型の運営方法、お客様がお金を払っても利用したくなる価値づくりなど、10年かけて培ってきた事業化のノウハウがたくさんあります。タウンカフェの運営事例を参考にコミュニティ事業の経営手法を学びます。

人が集う場を
事業として
運営するには？



港南台タウンカフェの様子

講師 齋藤保氏

株式会社イータウン(港南台タウンカフェ)代表
2005年に横浜港南台商店会と連携して港南台タウンカフェを開業。また、横浜市ソーシャルビジネス相談事業(2010年～)など、ソーシャルビジネスに関する事業も数多く手がける。「文京社会起業フェスタ2014」にも、ゲストスピーカーとして参画。



事業構築の考え方を学ぶ

コミュニティ事業のプランづくりのコツ

5月14日(水) 18:45~21:00

会場：文京シビックセンター 5階 A・B 会議室

定員：30名(抽選) 申込締切：4月28日(月)

自分の思いを事業プランに落とし込む方法、立ち上げるための仲間づくり、事業に必要なお金を見み出すポイントを学びます。



講師 広石拓司

株式会社エンパブリック代表
根津おいてコミュニティづくりと社会起業支援を専門とする(株)エンパブリックを2008年に創立。新たな公共プロジェクトの事務局も務めている。

地域課題の解決を目指すプロジェクトの事業構築をサポート

2014年度の支援候補プロジェクト を募集します！(募集期間 6月2日～12日)

地域課題の解決を目指す新たな活動の事業構築を応援するため、区では「プロジェクト支援制度」を設けています。事業の継続力向上、展開力向上のために、事業構築を総合的に支援する制度です。プロジェクト支援制度にご関心のある方は説明会にぜひご参加ください。

詳細は、裏面をご覧ください

プロジェクト支援制度説明会

5月29日(木) 19:00~21:00

5月31日(土) 9:30~11:30

会場：文京シビックセンター 5階 A・B 会議室

※両日とも内容は同じです。

詳細・申し込みは特設サイトで！ <http://bunkyo-sip.jp>

地域課題解決を目指す新たなプロジェクトを応援します!

「プロジェクト支援制度」とは?

区では、文京区をフィールドに地域課題の解決を目指す新たな活動の事業構築を支援するため、「プロジェクト支援制度」を設けています。事業の継続力向上、展開力向上のために、事業構築を総合的に支援する本制度は、支援候補プロジェクトとして登録されたプロジェクトの中から、区が設置する「担い手創出プロジェクト支援本部」による選考を経て、支援プロジェクトを決定し、4ヶ月を1クールとして最大2クールまで支援を行っていきます。

— 2013年度のプロジェクト支援の事例 —

●文人郷(ぶんじんきょう)構築による地域連携事業(NPO法人街 ing 本郷)

中心メンバー2名が企画・運営を担っていることで、企画・イベントが単発的になり、また周囲との多面的なコミュニケーションも不足していることによって、活動があっても軸となる事業が曖昧になりがちで、プロジェクトの継続性に課題がありました。周囲との関係構築を中心に支援を行ったことで継続力の基盤づくりに進展がみられました。

●ハッピーファミリープロジェクト(子育てkitchen)

「子どもが主体につくる料理」のワークショップは継続的に実施されており、参加者には支持されていましたが、事業の社会的意義、生み出したい成果を明確にできていなかったために、支援者の広がりが限られている状況にありました。そこで、社会的意義と成果を定義するための支援を中心に行つたことで事業の軸が明確化されました。

●文京映画交流クラブ(文京映画交流クラブ)

リーダーの個人力で行われていた活動を、団体の運営メンバーや地域住民が支え、共につくる活動としていくために、目標の焦点を絞り、活動の進め方を整理する支援を行つたことで、リーダーや運営メンバーの意識に変化が見られました。

担い手創出プロジェクト支援本部員より

各務茂夫

東京大学教授 経営学博士
産学連携本部 イノベーション推進部長



安藤哲也

NPO法人タイガーマスク基金
代表理事



最初の打ち上げ花火として爆発的な事業成果を期待したが、担い手も行政サイトも手探りな1年目は無難な事業に落ちていた感がある。次年度はさらにソーシャルインパクトのある事業企画を待っていますのでチャレンジを。あなたが新しい時代の文京区を創ります!

**プロジェクト支援制度に
関心ある方は、
ぜひ説明会にご参加ください!**



詳細・申込みは特設サイトから

プロジェクト支援制度、これまでの活動レポート、開催イベントの詳細・申し込み方法などを掲載しています。

特設サイト

Facebook

Twitter

bunkyo-sip.jp

Facebookページ「文京ソーシャルイノベーション・プラットフォーム」

@bunkyo_sip メールマガジン 特設サイトからご登録ください。

新たな公共プロジェクト事務局:



empublic

株式会社エンパブリック

印刷物番号 D0513088

■発行:文京区 新たな公共プロジェクト事務局

■お問い合わせ先:文京区 区民部区民課 協働推進担当

TEL 03-5803-1167 FAX 03-5803-1340

mail b-sip@city.bunkyo.lg.jp